

出前教室 みやのまえ放課後児童クラブ (8.25) 29 名 PM1:30~3:00

まつばら放課後児童クラブ (8.26) 29 名 PM1:30~3:00

講座名 平塚の自然と災害「地形や川から考える」

実施メンバー 篠原憲一、学童スタッフ 9 名

講座実施内容

◎専門機関の資料にて卵に似ている地球内部の仕組みを説明。

◎対流するマントルの動きでその上の 10 数枚のプレートがいろいろな方向に動き回り、ぶつかったり、下に潜り込んだりして、それに伴い陸地が動いたり地震も起こる。

◎プレートの動きは大陸さえ動かし、南米大陸とアフリカ大陸もとは 1 つだったのが裂けて別々の大陸になった。「資料コピーを配布」

◎日本の周辺では 4 つのプレートがぶつかり、潜っているため地震が多い、地震を知り備えることが大事。「資料コピーを配布」

◎寒くなったり、熱くなったり、地球の自然変遷を知る手段として、温かかった縄文時代は海が高くなり、平塚の 5 km 以上まで入り込んで海の中だったから、平塚の中心街の足元は砂、砂丘だった。八幡山は砂丘の高かったところ地盤図で説明。「資料コピーを配布」

◎平塚市市街地の白地図を貼り合わせたものに砂丘跡の高さの違いを色別シールでわかりやすくした大きな地図を掲示して、休憩中に自分の家の高さを確認する。

◎松原小学校周辺は昔、何回も相模川が氾濫して砂や砂丘を流して低くし、代わりに山の方の栄養ある土砂をまき散らしたので以前、周辺は田が多かった。「学校周辺の写真コピーを配布」

◎自分を危険から守るカードゲーム<防災ダック>を使用して、いろいろな危険からどうしたら身を守れるかを考えてもらった。

その手段をわかりやすくするために動物を見習うことを提案。

津波はチーターになり高いところへ。

雷はカメになり地べたに低く。

車の危険はネズミになり、すぐに飛び出さず、左右を確認してから出る。

◎地震による起こる液状化を実験装置で見てもらい、池や沼や海や田をうめたてた土地では液状化が起こりえることを実感。

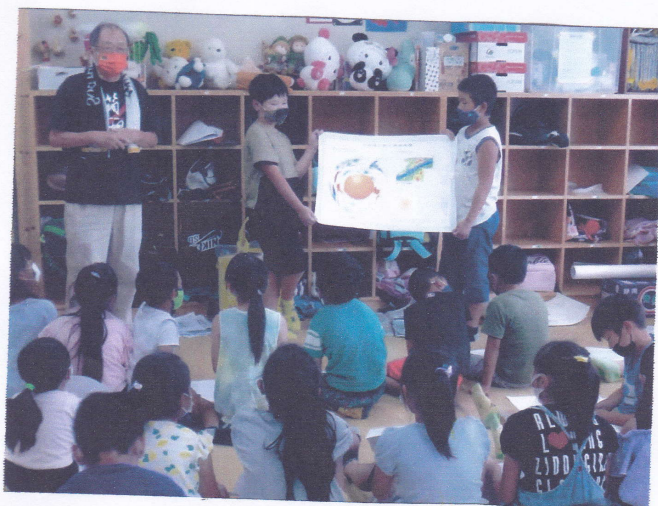
◎生徒に、当会が編集して発刊した<あゆのおはなし>本を贈りました。

・終了後の声

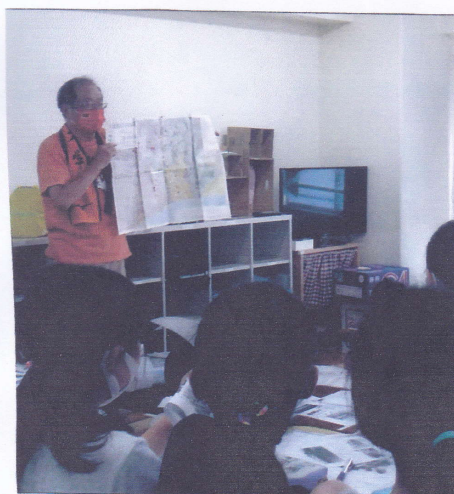
◎先生から、真剣な表情や楽しそうな表情、そして、わくわくした表情とたくさんの表情を見ることができ、生徒にとってためになりました。

◎生徒から、教えてくれてありがとう、とてもうれしかった、わからないことを教えてもらった。実験がたのしかったとのこと (約 4 割の生徒から)

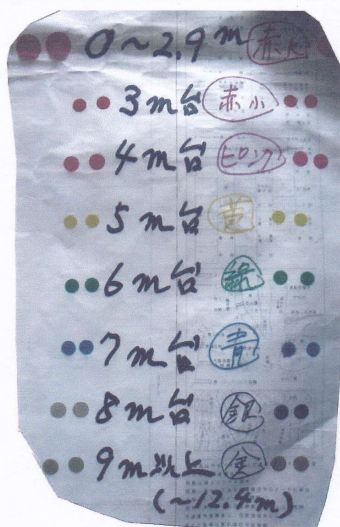
<2 か所の学童 2 日続けての同じ内容講座につき写真混載=T シャツ:25 日オレンジ,26 日黒>



地球の内部をポスターで説明



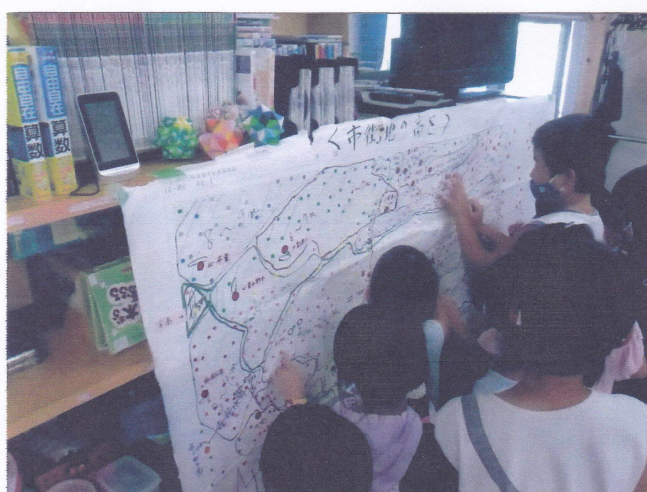
この辺りは大昔の暖かった時は海の下、湾の中で砂と砂丘だったことを平塚の地盤図で説明



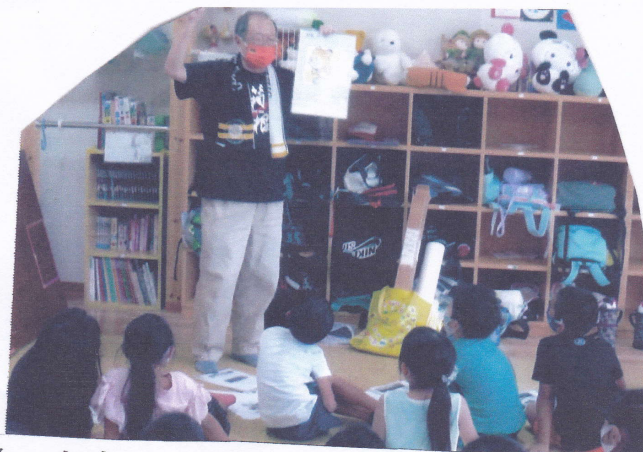
3-2



色別シール添付の白地図で周辺の高さ違い確認



3-3



地震、津波、水害、火事、雷、車事故その他の危険からどうしたら身を守れるか？をカードゲームで動物になって考えてもらいました



地震の時に起こる液状化を実験装置で見ました

金目川水系流域ネットワーク発行の＜アユのおはなし＞を全員にプレゼントし自然の大切さを

